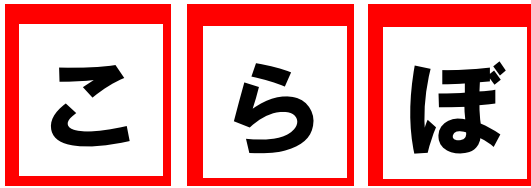


こくぶんじ協働ニュース



Collabo

- 1面 イベント情報・センター長通信
- 2面 団体交流会・イベント報告
- 3面 NPOの現場から、利子補給制度他
- 4面 団体紹介・お知らせ、他

発行 こくぶんじ市民活動センター
発行日 平成26年1月1日



明けましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願ひいたします



地域・団体交流会

を開催します。

今年度は、市内を東西南北の4地区に分けて開催していますが、〈東〉〈西〉〈南〉は好評のうちに終了しました。年の初めは第4回目の〈北〉、そして3月には総括となる〈結〉を開催いたします。各地域から出された課題の発表や、地域の活性化に向けた取り組みなどに対する情報共有や意見交換を行います。ぜひ、ご参加ください。

◎第4回〈北〉北町地域センター
平成26年1月17日(金)14:00~16:00

◎第5回〈結〉本多公民館 (場所が変更になりました)
平成26年3月上旬14:00~16:30
(開催日については決まり次第お知らせいたします)



第1回〈東〉本町・南町地域センター



第2回〈西〉西町地域センター



第3回〈南〉内藤地域センター

年頭にあたって

あけましておめでとうございます。午年の一年が始まるにあたり、その由来を調べてみました。「『午』は『忸』の原字であって餅を付く杵を描いたもので、十二支の中間に位置するため、草木の成長が極限を過ぎ、衰えの兆しを見せ始めた状態を表している」と考えられているそうです。このことから午の刻は昼の12時を中心とする約2時間として、昼の12時を正午としたそうです。そして、一般に使う「馬」は後になってから十二支を覚え易くするために動物の馬が割り当てられたとか。さて、午年の2014年は市制施行50周年に当たります。市ではいろいろな記念イベントを企画しています。協働コミュニティ課でも楽しいイベントを考えています。皆様からのアイデアを取り入れさせていただくことも予定しています。

また、今年度は提案型協働事業も本格実施となります。協働コミュニティ課でも1事業を取組ませていただく予定です。市ではこのような委託型の協働事業にとどまらず、国分寺版「新しい公共」を推進するため、多様なパートナーと多様な形態の協働に取り組んでまいります。皆様からの先駆的で斬新なアイデアをお待ちしています。

(センター長 生駒 保比呂)



★開催報告★

地域・団体交流会



地域・団体交流会〈西〉・〈南〉は2部構成で開催しました。1部は団体や周辺地域の自治会、商店会の方に活動事例等の報告をしていただき、2部ではグループに分かれ自己紹介と地域の活性化に対する取組み等についてディスカッションを行いました。

■平成25年9月30日(月)西町地域センターにて《西》地区が開催されました。

第1部では、らぶんじ実行委員会・西町プラザ利用者協議会・NPO法人健康体操指導ワーカーズ・NPO法人KPSZホットライン・NPO法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会・庁内から健康推進課、光公民館、西町プラザより活動事例報告がありました。第2部では、センタースタッフも加わり、自己紹介から地域課題についての意見交換などを行いました。

■平成25年12月17日(火)内藤地域センターにて《南》地区が開催されました。

第1部では、泉町三丁目ふるさと子どもまつり実行委員会・緑と自然を育てる会・コアラッコ親子ひろばサポート国分寺・西国図書室・JR中央ラインモール・庁内から経済課、健康推進課、恋ヶ窪公民館、内藤地域センターより活動事例報告がありました。第2部では、自己紹介をし、顔の見えるつながり作りの第一歩となりました。閉会後の名刺交換の時間には、活発な情報共有や意見交換などが行われ、参加者同士の交流が見られました。

★アンケートでは次回もまた参加したいという声を沢山いただき、実際の活動フィールドである地域に出ていく事の大切さを感じています。次回は北町地域センターです。ぜひご参加ください！



市民活動とその支援 ～センターを知る・考える～

PART2

平成25年11月13日(水)に国分寺市役所書庫棟会議室にて開催しました。ゲストに小平市民活動支援センター「あすぴあ」の谷原裕子センター長をお招きし、「あすぴあ」の成立ちや、NPOフェスタ「元気村まつり」、講座の企画や活動の取組みをお話していただきました。センターと同じ中間支援組織としての「あすぴあ」のお話は大変参考になりました。参加された方々と地域課題や活動中の悩みをテーマにディスカッションの場を設け、会員の高齢化や若い世代の取り込み方など、団体の抱える問題を共有することが出来ました。

センターは中間組織として何を求められているか？何が出来るか？・・・近隣市のセンターの取組みを通して、皆さんと考えていきたいと思っています。今後もこのテーマでイベントを開催する予定です。

【アンケートから】

- ・小平の市民活動の強みやよさを知ることが出来た。
- ・入りやすいセンターの工夫がみられ、どうしたら人が来てくれるかを学ぶことが出来た。



国分寺市を拠点とする
NPOの活動取材録

第 36 回 ～住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい～

NPO法人 高齢社会の食と職を考える チャンプルーの会

シリーズ・NPOの現場から

「NPO法人 高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会」は、「レストランサラ」、「ひろばサラ」、「デイサービスサラ」の三本柱で活動しています。今回は、レストランサラにお邪魔してお話をうかがいました。

1999年にレストランサラをオープン。翌年にNPO法人格を取得し、現在会員数は83名。「チャンプルー」の名前の由来は、沖縄のまぜこぜ炒め料理からイメージし、地域に暮らす人がお互いに持ちつ持たれつで助け合って暮らしたいという思いから。そして「サラ」はアメリカの児童書「のっぽのサラ」の主人公のような元気な女性スタッフが集って始めたことから名づけられたそうです。店内では、マスコットの「サラおばさん」もスタッフの方と一緒に迎えてくれました。

レストランサラでは、食事の提供と配食サービスを行っています。配食エリアは国分寺市・立川市・国立市周辺。食材の刻み方や、ご飯の柔らかさなどを、利用者の一人一人に合わせていて、食べる人のことを考えた食事作りをしている印象を受けました。

フリースペース「ひろばサラ」では、手仕事カフェや趣味の教室、子育て中の親子を対象とした講座等を開催しています。店内にあるピアノは、団地の方から寄贈されたそうで、様々な場面で活躍しているようです。また、介護保険事業の「デイサービスサラ」では、古くなった着物を細長く裂いて織っていく「裂き織り」のプログラムが人気で、手仕事カフェと共同で定期的にリメイクした作品の展示即売会を行っています。どのサラも、誰でも気軽に立ち寄れる家庭的な雰囲気が漂っていました。



『家で死ぬことを支える仕組み』を作り、高齢者が自宅で最期を迎えることができるように、地域で支えたい。」と語る代表の紀平さん。「サラ」には、タイ語で“人が集る場所”という意味もあるそうです。人が集い、地域に“人のつながり”が広がっていく活動に、私達も期待しています。

連絡先：代表 紀平 容子 (Tel&Fax 042-535-8239)



●平成 26 年度実施提案型協働事業が決定しました。

こらぼ 33号(7月1日発行)で募集しました、提案型協働事業が以下の通り決定しました。提案7事業のうち、3事業が採択となりました。

事業名称	提案団体	事業担当課
本がつなぐ人とまち ー国分寺ブックタウン事業	西国図書室	協働コミュニティ課
ママインターン事業	NPO 法人 Arrow Arrow	男女平等人権課
協働を進めるための市職員・ NPOスタッフ実践的育成事業	市民テーブルこくぶんじ 冒険遊び場の会	職員課



●市民活動団体活動支援・事業支援利子補給金制度がスタートします！

金融機関から市民活動及び事業を行うための融資を受けた市民活動団体に対して、その利子額の一部を補助金として交付する制度です。対象となる融資は500万円以下で、かつ、年利が5%以下のものです。利子補給金の額は、市民活動団体が毎年4月1日から翌年3月31日までに返済した利子額の60%とし、利子補給期間は融資を受けた資金の返済開始の日から起算して5年です。

詳細については募集要項をご確認ください。募集要項は市民活動センターで配布するほか、国分寺市ホームページからダウンロードできます。

【申請期間：平成26年1月6日～1月31日】

団体紹介コーナー

団体紹介
随時募集中!

「地域は創り出すもの」

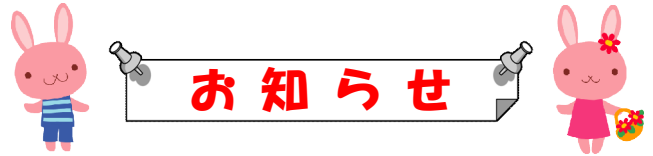
かたぐるまの会

2001 年の秋に“遊ぶ心にかけては子どもたちに負けない”国分寺市立第六小学校のお父さんたちが集まって開いた作戦会議からこの会は始まりました。子どもたちと一緒にみんなで何がしたいか、みんなならどんなことができるか。大義や必要、「べき」や「ねば」、(SHOULD、MUST)からではなしに、WILL と CAN からすべてを開始すること……。原点となったこの“能動の精神”は、今も変わりません。この会の会員資格はそれに共感して自分も一緒に遊びたいと思う心、それだけです。以来毎年私たちは(私たち自身も子どもに還って)子どもたちやその保護者のみなさん・地域のみなさんと一緒に年に二回、六小の校庭で、7月に『なつまつり』1月には『春よこい』(新年のお祭り)を開き続けてきました。みなさんどうぞ遊びに来てください。“遊び”(お祭りも大きな遊びです)には、ゼロから人と人をつなぎ直す力があることがわかっていただけるでしょう。



私たちの住むここ五日市街道沿いの一帯は、江戸時代の新田開発で切り拓かれ、近年は宅地開発の大波に洗われて新旧モザイクの家が立ち並ぶようになった、典型的な武蔵野の新興住宅地です。そんな土地で、どうしたら“地域(人と人とのつながり)”を(再び)創り出せるのか。もしかしたら、私たちは正攻法でひとつのヒントを見つけたのかもしれない。これは今の時代の“青年団”なのかもしれない、そう思い始めている私たちです。

連絡先：かたぐるまの会代表 鈴木 雅大(がだい)
TEL/FAX 042-327-3707



■登録更新にご協力ください■



市民活動センターでは、毎年1回、利用団体登録の更新作業をしています。これは、常に最新の団体情報を提供し、また、市民活動団体の支援に役立てようとするものです。今年も3月中旬ごろ、団体の連絡者の方に登録更新手続き書類をお送りいたしますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

■フェスティバル開催に向け活動中■

平成 26 年 4 月 20 日(日)にひかりプラザで行う「第8回 市民活動フェスティバル」の実行委員会が10月より始動しました。参加団体は27団体。3ヵ月後に行うフェスティバルに向け、各担当を決めて着々と準備を進めています。

今後、チラシやポスターで目にされる機会もあると思います。どんなフェスティバルになるか?ご期待ください!



～協働推進係長 増本からメッセージ～

新年、あけましておめでとうございます。

昨年は市民活動フェスティバルや地域・団体交流会、市民活動とその支援：センターを知る・考えるなど様々な事業で大変お世話になりました。本年も「中間支援組織」として、皆さまからいただきましたご意見やお声を糧にスタッフ一同、精一杯業務に邁進して参りたいと思います。

団体ヒヤリングをはじめ、引き続きセンターの様々な活動にご理解とご協力をいただきますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



●編集後記●新年あけましておめでとうございます。市民活動センターも昨年から、地域・団体交流会の開催場所を地域センターに移し、できるだけたくさんの市民の方に参加していただけるように工夫しました。いろいろと新しい取り組みをして、みなさまにセンターを知っていただく努力をしています。今年もよろしくお願いいたします。(K)

発行・編集 こくぶんじ市民活動センター(国分寺市役所 市民生活部 協働コミュニティ課)
〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1 第三庁舎1階
Tel 042-208-3636 / Fax 042-208-3637
e-mail kepcp@jcom.home.ne.jp
http://www.collabo-kokubunji.com/
開館時間 平日 9:00~17:00(ただし年末年始を除く)
平成 26 年 1 月 1 日発行

